

## 今日のみことば

### □ 10月22日(日) レビ記 12章

汚れについての律法が続く中で、出産に関するもの。産後の汚れが明けの、母性の健康を保護するために払われた考慮についての取扱です。

### □ 10月23日(月) レビ記 13章

皮膚病の汚れに関して述べられているが、難しい専門語を用いて書かれている。「急性」か「慢性」かなどを判断する専門的教科書と言える。

### □ 10月24日(火) レビ記 14章

ここでは重い皮膚病がいやされた時に行う、清めについて、さらには、これらの病気が拡大しないための隔離など目的とした取扱が述べられる。

### □ 10月25日(水) レビ記 15章

この章では露骨に性の問題について触れているが、私たちの全生活は神の恵みの場所である以上、性に関することも、正しく扱われなければならない。

### □ 10月26日(木) レビ記 16章

年に一度、大祭司が神の民全員のために贖いをする、贖罪の日についての述べられている。人間の罪の贖いのためのイエスの十字架についての神の歴史的な下絵の一つと言われる。

### □ 10月27日(金) レビ記 17章

背教から守られるために、犠牲は適切な場所で、適切な方法でさげられるべきです。また、血を食べることは固く禁じられた。

### □ 10月28日(土) レビ記 18章

ここには結婚の神聖性と性を重んじることが述べられている。性の問題について肉欲が支配すると必ず失敗する。信仰が支配するのでなければならない。

---

ろ ぼ No. 1838  
2017年 10月22日  
日本バプテリスト 立川キリスト教会  
牧師 大川 博之

---

イエスがエルサレムで開始された公的宣教の働きは、ユダヤとサマリアの地での宣教を経て、ガリラヤの宣教で一段落しました。イエスはこの宣教によって、ご自身が「世の救い主」であることを示されました。

ヨハネ 4:50

イエスは言われた。「帰りなさい。あなたの息子は生きる。」その人は、イエスの言われた言葉を信じて帰って行った。

そこでイエスは故郷のガリラヤのカナに帰ってこられました。このカナはイエスが、最初の奇跡を行われたところです。「預言者は自分の故郷では敬われない」と言われたが、エルサレムでのイエス評判を知っている人たちは、カナへ帰ってこられたイエスを歓迎しました。そこでイエスがガリラヤへ来られたことを聞いた王の役人は、息子の病気をいやしてほしいとイエスのもとを訪れました。その役人にイエスは「あなたがたは

しるしや不思議な業を見なければ、決して信じない」と言われました。今日でもそうですが、救いを求めている人は大勢います。力ある業を行ったと聞けば、そこに人々は集まってきました。イエスは、現実の出来事を見て追っかけてきた人々を批判されたこともあります。

イエスは本当に救いを必要としている人の願いは、決してそれを退けられることはありませんでした。この役人は、そのようなイエスの言葉が聞こえなかったみたいで、「主よ、息子が死なないうちに、おいで下さい」と願いました。「求めよ。そうすれば与えられる」とはイエスの言葉です。必要があるなら

しっかりイエスのもとに来て、求めを申しあげることです。それが救いを必要としている者が、なすべき第一の事です。俗な話のたとえで「宝くじは買わなければ当たらない」と言われます。助けが必要であるなら、求めなければそれは与えられません。イエスは気を落とさずに祈ることを教えられました(ルカ18:1-8) 必要があるなら、倦むことなく求めることです。王の役人はイエスの言葉など聞こえないかのように、イエスの息子のいやしを求めました。そこでイエスの言葉を引き出すことが出来るのです。イエスは「帰りなさい。あなたの息子は生きる」といわれました。

彼は「イエスの言われた言葉を信じて帰って行った」のでした。「だから、行っておく。祈り求めるものはすべて既に得られたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになる」と(ルカ11:24) イエスは言われるのです。それでも私たちは、確信を持ってイエスの言葉を受け入れることができないのではありませんか。そのとき私は、今学んでいるヨブ記で、神さまがヨブに答えられた言葉を思い出させていただくのでした。「これは何者か。知識もないのに、言葉を重ねて／神の経綸を暗くするとは」(ヨブ38:1) との神さまの言葉です。私たちは被造物です。生かされている存在です。そのことをしっかりと確認することが出来るなら、私たちの行動は自ずから見えてくるのではありませんか。そしてしっかり必要を満たして下さるお方に、必要を申し上げるのです。

————— 《 聖書の学び・祈祷会 》 —————

ヨブ記 42:1-17      新しく結びなおされて

ヨブは今や、自分の理解をはるかに越えた全く力の及ばない事柄に手を出していたことに気づきます。ヨブは神が初めに言われた「無知の言葉をもって、神のはかりごとを暗くするこの者は誰か」と言われた意味を、やっと了解したのでした。と同時にヨブは「わたしはあなたに尋ねる。わたしに答えよ」と言う主の言葉を想起し、この時思わず、「わたしはあなたの事を耳で聞いていましたが、今はわたしの目であなたを拝見いたします」というのでした。

ヨブが悔い改めの言葉を神に述べるや、神はたちまちにしてヨブのために擁護者として現れ、ヨブに事実無根の罪を帰せようとした三人の友人たちを責められました。彼の環境が祝福に向かったのは、ヨブが三人の友人のために祈ったときでした。ヨブはまず霊的祝福を受け、次に物質的祝福を受けました。神は以前にもまさる祝福ををもってヨブに報いられました。



Read God's Word.